あまにゅう

青森県青年海外協力協会（AOCA）広報誌
平成22年3月号（2010.3）
発行:　青森県青年海外協力協会
編集担当: 大賀重樹（5－1ホンジュラス）

AOCA の目指すもの

会長　　大賀重樹（H5－1 ホンジュラス共和国 小学校教諭）

様々な方とお会いする中で「青年海外協力協会（AOCA）ってどんな団体ですか。」と聞かれることがあります。聞かれる度、「わたしたちが目指すものは何だろう」といつも考えます。

ここで改めて文章にしてみると、以下の三つを目指しています。

（1）　世界中の人々が幸せになるために国が行っている事業、青年海外協力隊事業を応援し、県内から一人でも多くの人が参加できるように支援すること。

（2）　世界の人々の現状を一般の方々や小・中学生や高校生などに理解してもらい、国際理解、国際協力の大切さや必要性を知らせること

（3）　県内に多くの青年海外協力隊経験者が集い、国際協力、国際理解の輪を広げられるようにネットワークを作ること。

どれも、簡単にできるものではありませんが、少しずつ前進していく気持ちで活動に取り組んでいます。その他、我々に「できる活動を　できるときに　できるだけ」やることを心がけています。皆さんの住んでいる市町村で、我々を見かけられましたら、どうか気軽に声をかけて頂ければと思います。

青年海外協力協会広報誌「あまにゅう」は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体の広報誌です。この広報誌を発行することを通して、県内在住のＯＢ・ＯＧの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行します。

「あまにゅう」の由来

「あまにゅう」は八甲田をはじめとした、高山にあり、きれいな白い花をさかせる植物です。普段は人知れず咲いているのですが、一旦山に登ると大きくてはっきりと確認できる植物です。青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない、そんな協力隊経験者と通じるところがあるようで、機関誌を作ったときにその名前を採用されました。

なお、名付け親は川村宏義氏「あまにゅう」の初代編集者です。

小さなハートプロジェクトの支援完了！　ご協力ありがとうございました

昨年１０月より、ボリビアの土岐隊員【五所川原市出身】による、小さなハートプロジェクトへの支援要請があり、ＡＯＣＡとして、高山ＯＢを窓口として支援してきましたが、年内に目標を上回る約４６万円が集まり、年内に土岐隊員に送金を完了いたしました。新聞社・ラジオ放送等による広報の他、多くの支援をありがとうございました。

昨年 10 月末に AOCA のメーリングリストにボリビアに派遣中の土岐彩佳隊員からメールが入りました。

ボリビアの人々を支援するため、ボリビアにパン工房を開きたいという内容でした。ただ、本来の彼女の隊員としての活動外のことなので、協力隊本部から支援経費は下りないため、AOCA への協力要請でした。

早速、県内OBOGへの募金の呼びかけを始めるとともに、東奥日報、陸奥新報、FM あおもりなどのメディア各社にも広報の協力を頂き、最終的には、目標の 30 万円を大きく上回る約 46 万円が集まり、小さなハートプロジェクトの主催団体「協力隊を育てる会本部」への 30 万円の送金のほか、約 16 万円を土岐隊員へ直接送金しました。

現在、パン工房実現のため、土岐隊員はボリビアで活動中で実現に向けて前進しています。その様子は、土岐隊員のブログ（http://ayasia.blogspot.com/）でご覧下さい。また、小さなハートプロジェクトに関しては、「協力隊を育てる会」のホームページにも説明があるので是非ご覧下さい。是非是非、土岐さんの思いが実現しますように！！

左の記事は、土岐隊員の母校、五所川原高等学校からの募金の贈呈式のものです。【東奥日報 12 月 16 日掲載】

募金を大賀会長に手渡す長谷川生徒会長㊨

先輩は誇り　後輩がエール

五所高生・ＯＢら

ボリビアで活動　土岐さんに募金

五所川原高校出身の土岐彩佳さん(25)が青年海外協力隊として派遣されている南米・ボリビアでパン工房を設けるため、全国から資金を募っているのに応え、五所川原高校の生徒や職員から4万円、同窓会から1万円の募金が集まった。同校でこのほど、贈呈式が行われた。（荒関幸子）

土岐　彩佳さん

11月13日付本紙の記事を見た同校教師が教え子だと気付き、先輩に協力できないかと生徒会や奉仕活動を行う庶務ボランティア委員会に相談。同委員が「募金のお願い」と書いた文書を全クラスに配布し、募金を集めた。

同校で行われた贈呈式では、長谷川裕斗生徒会長が県青年海外協力協会の大賀重樹会長に募金を手渡した。土岐さんからは「母校から支援してもらい、とてもうれしい」などと書かれた手紙が届き、大賀会長が読み上げた。

「土岐さんが必要としている資金30万円に対して全国から42万1006円が集まった。募金は、世界の隊員を国内で支援する団体「協力隊を育てる会」や土岐さんに送られる。

生徒会副会長の渕谷俊英君は「外国でこのような活動をしている先輩を誇りに思う」と

地球生活体験東北ブロックリーダー研修会が終了！！

２００９年８月29・30日の二日間、青森市のアラスカ会館を会場に開催されました。参加者は講師を含み３３名で、AOCA(10)、秋田(3)岩手(2)、宮城(3)、山形(3)、福島(1)のほか、県内の学生(8)、一般・講師(3)でした。どの参加者も大変熱心にセミナーやワークショップに参加されました。来年は、岩手県での開催です。以下の内容については、この研修会の事務局の對馬千佳子ＯＧ（16-2ボリビア　村落開発普及員）によるものです。

アイスブレーキングと自己紹介　東北に関するクイズを使った独善ビンゴゲーム。県ごとの実践活動の紹介をその場で模造紙に書いて発表。

スキルアップセミナー「対象・素材を活かす」　参加者の写真を使い、その写真から読み取ったものや疑問を発表した。その後、写真を提示した人の解説をしてもらうという、写真を活かしたワークショップを体験。

ワークショップ「フードマイレージから環境を考える」地図を使い、青森県横浜町の給食のフードマイレージを計算。そこで出た結果について意見交換をし、気づいたことや、自分たちで今後出来ることについて発表をしました。

ワークショップ「ペットボトルの水からわかる世界の水事情」水についてのイメージの発表、アフリカの水運び体験、ミネラルウォーターと水道水の飲み比べ、アフリカの写真を使った水事情の紙芝居作成、バーチャルウォーター、世界の家庭で使われる水の量の比較など盛りだくさんのワークショップでした。

どの参加者も活発に意見を出し合い、「地球環境の問題の大きさ」や「写真からの情報の読み取りの難しさ」「水がいかに使われているか」等、真剣に考えました。

勇壮　感激　　立佞武多

昨年度に引き続き、五所川原の立佞武多にＡＯＣＡとして参加しました。２２ｍ、１７トンという巨大さに圧倒されながらも、青年海外協力隊経験者のほか、家族や友人も一緒に参加し、揃いのＴシャツを着て、練り歩きました。初めての参加者や家族参加も多かったのですが、大いに盛り上がることができました。来年も是非参加できればと考えています。

秋のイベントから

「学びの延長線上にある国際協力」

１１月14日、青森県立保健大学とJICA共催の講演会**「学びの延長線上にある国際協力」**にOBOGが協力しました。大賀佳子OGに体験談を話し、後半、川村OBがシンポジウムの進行をしました。渡辺OB、高山OB、小林OBも参加しました。内容はすばらしいもので、大賀OGには、「あおもり地球人」の紹介も兼ねて、話してもらいました。本人は「15年も前の隊員」と謙遜していましたが、つい最近帰ってきたかのようでした。日本人とホンジュラス人に対する命の重さの違い、支援物資を送ることの難しさなどとても印象深い話でした。

後半は若いうちからでも参加できるプログラムの紹介も兼ねて、昨年度エッセイコンテストで最優秀賞を受賞した中高校生、野坂くんと石井くんに副賞として行ってきた海外研修の報告がありました。その後のシンポジウムにもパネラーとして入って頂きましたが、2人の堂々たるプレゼンには本当に驚かされました。その若い志をそのままに、将来は、海外でも精力的に活動してくれる人材にと思わずにはいられませんでした。

左から川村OB、大賀OG、そして、パネラーの方々

海外派遣中の協力隊員の皆さんからのメール紹介

ウガンダからお久しぶりです！！」　２１年度２次隊　ウガンダ共和国派遣　　高橋　和徳

みなさんお久しぶりです。青森はもう雪が降る季節ですね☆こちらウガンダでは雨期が終わり、これから乾期に入るそうです。まだウガンダに来てから２か月、任地のソロティ県について一ヶ月半が経ちました。まだわからないことだらけですが、同じ任地の先輩隊員の活動を見学したり、オフィスに来る現地の人とマンゴーを食べながらおしゃべりしたり、活動を楽しんでいます。任地のソロティはLRA（神の抵抗軍）というゲリラから逃げてきた難民キャンプがあり、先日はそこで先輩隊員がおこなったスイートポテトドーナッツのワークショップのサポートをしてきました。たくさんの人がいる中で数名の女性が必死にメモをとる姿が非常に印象的でした。任地で色々と調べているとソロティ県の人口増加率がなんと５%以上もあり、1980 年から比べると人口が２倍に増えているというデータがありました。県庁内の保健課に行って話を聞くと、ウガンダは女性を嫁に送り出すときに牛と交換するらしく、子供が「財」としての役割があるようで、つまり文化として子供をたくさん産むことが富の象徴となっているようです。女性の出産に関するリスクも非常に高く、乳児死亡率も高いため、ファミリープランニングはソロティ県の大きな課題なのではと思っています。

そこで、今、先輩隊員と協力し、ソロティの家族構成などの調査などを行っています。将来的にはソロティの病院や高校などでファミリープランニングの劇やワークショップをやれたらいいなと考えています。まだまだ来たばかりなので、ゆっくりゆっくり着実な活動をしていきたいです。赤道直下、新天地のウガンダより☆

個性が魅力の　２１年度２次隊！　出発

平成21年度２次隊の県庁表敬及び壮行会を９月 18 日（金）に行いました。今回も個性の強い魅力的な面々が集いました。

県庁表敬は市議会開催中のため、16：30 表敬開始でしたが、蝦名副知事と和やかに表敬が行われ、、その後すぐに駅前の日本海庄屋で壮行会となりました。派遣前訓練所時代のＤＶＤを見ながらの壮行会でしたが、県内各地から、OBOG が集まり、賑やかに送り出すことができました。隊員の皆さん、２年間元気に活動して下さい。

上の副知事表敬写真左から、

下川憲一シニア（チュニジア　貴金属装飾　むつ市出身）
上品ですてきな紳士という印象でした。

千葉寿樹（としき）隊員（マーシャル　小学校教諭　三戸出身）
若くてパワフルな方でした。

福村崇将（たかのぶ）隊員（バヌアツ　体育　東北町出身）
日体大出のバリバリのスポーツマン。

小笠原直子隊員（シリア　幼児教育　八戸市出身）
笑顔が魅力的ではじける元気が印象的。

石田（いした）義明隊員（ザンビア　体育　弘前市）
まさに好青年、溢れる若さに感動でした。

高橋和徳（かずのり）隊員（ウガンダ　村落開発普及員　青森市）
誰からも好かれる優しい笑顔の持ち主。

２１年度３次隊！　内山隊員　出発

12 月 14 日に平成２１年次３次隊の県庁表敬&壮行会を行いました。今回は、JOCV が、一名でした。**新隊員は、内山　智絵隊員**(セネガル、村落開発普及員)でした。表敬は、一名ということで、副知事室での表敬となりました。予定より長く、30 分以上も話し込み、その後の青森市表敬がおくれるほどでした。市の表敬でも堂々と話をする内山隊員が印象的でした。

夜の部は、青森市内の日の丸水産で行われ、地球色の日焼け青森応援団からも参加があり、嬉しい壮行会となりました。元気に任国で活躍下さい。任国からの便り、メールお待ちしています。　今回の派遣でセネガルは青森県出身者がまた増え、県人会ができそうです！！

応援団の泉田さんからも餞別が渡されました→

南澤 OB が外務省主催のグローバル教育コンクールで優秀賞を受賞

むつ工業高校教諭マレーシア OB の南澤さんが応募した作品が外務省主催のグローバル教育コンクール 2009、活動報告部門において優秀賞を受賞しました。**おめでとうございます！！**

詳しくは、こちら →http://www.mofa.go.jp/Mofaj/gaiko/oda/edu/contest/2009/index.html

「今回は、むつ工業高校で取り組んだ実践を ①教科分野 ②国際理解愛好会 ③学校行事の3つの面からの報です。グローバルシチズンシップ・地球市民教育を単独の教科などで実践するのが理想なのですが、現在の教育環境はそのような状況にはなく、どのような形で実践できるのか工夫と格闘の実践報告です。あまり、「教科」などに固執せず、気楽に行きましょう。こんややり方も、あんなやり方もありますよ といった実践報告です むつ工で教えるのも多分今年で最後。実践をまとめておく必要があると考えてまとめました。

今回の発表には 意図することがありました。それは、前年度まで外務大臣賞受賞でも、規定により「副賞での研修旅には、協力隊経験者は参加できない」・・・という規定がありました。今年はどうなったのかわかりませんが、ずっと疑問に思っていました。また、地球市民教育（開発教育）の国際的な動きなど、いろいろ話して来たことがあり、今年はなんとしてでも入賞したいと考えていました。とりあえず、話し合いのステージにいけるので、表彰式を楽しみにしています。」（南澤さんのメールからの抜粋です。）

元旦号発送！

今年も JOCV 派遣隊員の皆さんに、東奥日報の元旦号を発送しました。水産ビルに對馬 OG、川村 JICA デスク、高山 OB、大賀が集まり、袋に入れ、21 名に宛てて送りました。アフリカだとどのくらいかかるのかなあ・・・・。

AOCA メンバ　一年に一度の大集合

去る、12 月 12 日に、十和田市で行われた AOCA 大忘年会の模様を写真でお伝えします。史上最多の参加者数だったので、大変賑やかでした。年に一度の大集合ですが、世界各地での活動の話題で盛り上がりました。 AOCA の忘年会ですから、話が止まらず、2 時間のはずが、3 時間、4 時間そして、外に繰り出す人たちまでいました。隊員時代の話で大いに盛り上がりました。2 年間は宝物です。 **荻野 OG 夫妻→左**

瓜田 OB・瓜田 OG ファミリー→右

↑じゃがカーリングに夢中

↑ケーキ入刀の川村 OG 夫妻

↑川村 OG 夫妻と山本 OB・OG 夫妻

↑話の弾む上長根 OB と荻野 OG

↑話術の巧みな川村 OB

↑藤村 OB と中野 OB と對馬 OG

今月以降の主な予定

２月２７日（土）青森県民の国際協力写真展「見てきたよ～こんな国」（青森市　アスパム２階ホール）
３月１８日（木）平成２１年次４次隊　県庁表敬及び壮行会（青森市内にて壮行会　18:00～）
４月　４日（日）春募集説明会（青森市 水産ビル　14:00）
４月１０日（土）春募集説明会（八戸市 公民館）　14:00）
４月１１日（日）春募集説明会（弘前市 文化センター　14:00）

多くのＯＶの参加をお待ちしています。詳細は、JICA 青森デスク（017-735-2249）または大賀会長、中村事務局長、最寄のＯＶまでお気軽にお問い合わせください。